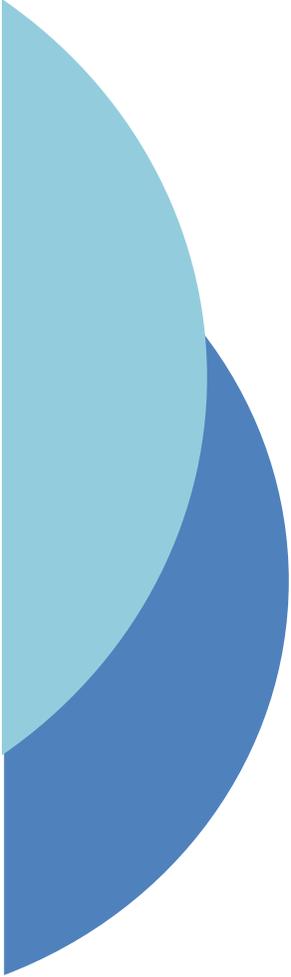
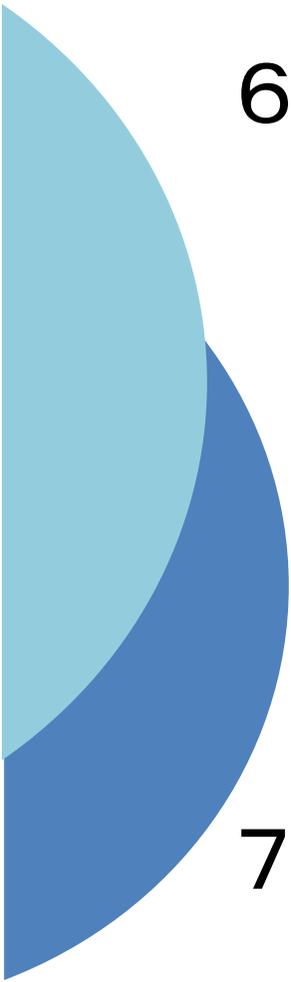


石原産業(株)四日市工場
第22回環境専門委員会

2024年3月27日(水)

13:30~16:30

- 
1. 四日市工場内見学
 2. 挨拶
 3. 今回の報告内容と概要
 4. 全域調査モニタリング結果 [資料1](#)
 5. 北西域及び南東域揚水に関する進捗報告
 - (1) バリア井戸 運転実績 [資料2](#)
 - (2) モニタリング調査結果
 - 北西域モニタリング結果 [資料3-1](#)
 - 南東域モニタリング結果 [資料3-2](#)
 - (3) 宙水処理設備の稼働状況 [資料4](#)



6. 土壌・地下水汚染の新規対策等に関する報告

(1) ホットスポット(ひ素)対策

[資料5](#)

(2) 工場新設と旧工場撤去状況

[資料6](#)

(農薬製造工場撤去)

(3) 北西域バリア井戸の揚水井追加工事

[資料7](#)

(進捗状況について)

7. 環境専門委員会の見直しと今後について

[資料8](#)

8. 質疑応答

対策項目と現状

		対策項目	アクション内容		
			2008～2021年度	2022年度	2023年度
調査	全域	地下水モニタリング	2019年全域調査終了 年4回モニタリング実施（6,9,12,3月）	継続実施	継続実施
地下水汚染対策	北西域 (重金属)	バリア井戸 (第1帯水層)	2013年より全16基で揚水開始 2016年1基追加、17基で連続運転に	連続運転中	連続運転
	南東域 (VOC)	バリア井戸 (第1帯水層)	3基のバリア井戸を掘削 2016年VOC処理設備完成、以降連続 運転に	連続運転中	連続運転
		揚水処理 (宙水)	2011年より揚水とVOC処理開始 以降、連続運転に(合五工場停止中)	連続運転中	連続運転
土壌汚染対策	北西域	パイロット 不溶化試験	パイロット試験実施、効果確認 不溶化スラリー注入試験実施	調査工事を実施	電解工場周辺で 本工事を昨年実施 (効果確認中)
	全域	裸地舗装	2021年度までに22,471m ² を舗装した。	1,935m ² 実施	24m²実施 
会議		環境専門委員会	第1回～21回(2019年12月) +拡大分科会2回(2020年度,2021年度)	拡大分科会 (2023年3月27日)	第22回 (2024年3月27日)

※VOC:揮発性の有機物

2023年度報告(1)

- 全域モニタリング結果

ひ素濃度は、観測井A-10,B-8,C-11が高くなってきている。

1,2-ジクロロエタンは、一時的に高くなる場所が認められるが、継続的に高い場所はない。

- 北西域・南東域揚水に関する進捗報告

(1) バリア井戸 運転実績

目標とする揚水量を達成しており、南東域は揚水中のVOC濃度が低下傾向である。

(2) モニタリング結果

北西域のひ素濃度は、上昇、低下の両方が認められた。南東域のVOCは、H19.No.2, No.C, No.D' P-2地点を除き低下傾向が観測された。

2023年度報告(2)

- 土壌地下水汚染の新規対策等に関する報告
 - 1) 電解工場周辺のホットスポット対策は、2022年下期より、本格工事実施後、モニタリングを継続中
 - 2) 有機製造部合五工場を撤去し、工場を新設するにあたり土壌の汚染発見届出を提出し公表。
形質変更時要届出区域の指定を受け工事中。
 - 3) 工場西区域(旧SR工場跡地)に地下水シミュレーションの結果より、重金属等をより効果的に回収することを目的として、バリア井戸の設置工事を実施中。

2023年度報告(3)

- 環境専門委員会の見直しと今後について

- 1) 環境専門委員会の委員である、

大東教授、坂部先生は、愛知土壌・地下水汚染対策研究会からの派遣として参画していただいている。

2003年(平成15年)から活動が続けてきた愛知土壌・地下水汚染対策研究会は、その活動目的を達成したと考え、2023年度末で解散する。

- 2) 場外への汚染物質の移動・拡散防止について、当初の目的を達成したと考え、2023年度末で解散し、2024年度以降の体制を見直す。

2023年度 裸地舗装工事

今年度は漏えいするとリスクの大きい箇所について裸地舗装実施した。

(裸地舗装工事後の状況)

